

令和元年度（平成31年度） 事業報告書
（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

NPO 法人千葉県東葛地区・生と死を考える会

1 事業実施の成果

令和元年度（平成31年度）は、組織ガバナンスについては法人の意思決定を明確にするため、また会員からの意見を吸い上げ意思決定に反映させるために、ホスピスボランティアの運営委員会に加え、グリーフケアの運営委員会を実施、また理事会複数回実施した。社会教育事業については、月例講演会、体験発表、デスカフェ、メモリアル・サービスを企画し実施した。患者と家族を支援する事業については、通常の活動を継続しつつ、新たな活動場所をスタートさせ、ホスピスボランティア講座を再開した。死別体験者を支える事業については、東葛地区、千葉市、埼玉での痛みの分かち合いの活動を継続し、神奈川においては活動の継続を支援した。子どもグリーフサポートの集いも継続して開催した。引き続き上智大学グリーフケア研究所のグリーフケア人材養成講座受講生の実習を受け入れ、またグリーフケア従事者の該当者を認定した。事務局運営に関しては各種事務連絡、手続きを円滑に行い、予算管理には規程を制定また会計ソフトを導入し迅速かつ正確さを強化した。広報・情報提供事業については、HPを更新し、各種パンフレットやチラシ、ニュースレターを作成した。

2 法人運営

- ・第8回通常社員総会の開催 2/23
- ・理事会の開催 第12回 1/31 議案－事業報告決算、修正事業計画・修正予算等
第13回 5/30 議案－無し、報告事項のみ
第14回 9/27 議案－グリーフケアスタッフの決定及びプロセス育成、グリーフケア従事者認定制度改正等
第15回 12/19 議案－事業計画予算、グリーフケアスタッフの決定及びプロセス育成、グリーフケア従事者認定制度改正等、仮決算

3 委員会の開催

- ・患者を支える会運営委員会 5回
- ・グリーフケア運営委員会 3回

4 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事項

事業名	事業内容	実施日時等及び回数	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)生と死をめぐる社会教育事業	月例講演会、体験発表会及びデス・カフェ	後述のとおり	麗澤大学	各回 5人	後述のとおり
	ホスピス・ボランティア養成講座	4月～7月、全12回（フォローアップ講座9月～11月）	麗澤大学	5人	柏市内外の受講者19名

	メモリアルサービス (追悼音楽集会)	11月23日 14:00～17:00	マザアス南柏	15人	会員25人及びマザアス関係者10人
	デス・エデュケーションセンター相談室	随時	法人事務所	1人	不特定多数
(2)患者と家族を支援する事業	患者を支える会(患者とその家族に寄り添う活動)	月・水 14:00～16:00 金 10:00～12:00 121回	島村トータル・ケア・クリニック、島村洗心苑	2人/回	当地区のがん等の患者、延べ815人
	※各グループでスタッフミーティングを3回～8回行う	月(第2・4) 14:00～15:30 金(第1・3・5) 14:00～15:30 52回	旭神経内科リハビリテーション病院	3人/回	当地区の入院患者、延べ589人
		木(第1・3) 13:30～15:00 23回	栗ヶ沢デイホーム	3人/回	当老健の入所者、延べ266人
		(病棟)火 14:00～16:00 (化学療法室)月～金 午前中随時 63回	柏市立柏病院	3人/回	当地区のがん等の患者、延べ597人
		水(第1・2・4) 14:00～15:30 34回	我孫子 聖仁会病院	3人/回	当地区の入院患者、延べ210人
		金(第2・4) 14:00～16:00 13回	マザアスクエアセンター 在宅ホスピス南柏	3人/回	当施設の入所者、延べ114人
(3)死別体験者を支援する事業	まんりょうの会 (自死遺族の語り合いの場)	第3日曜日 10:30～12:30 12回	法人事務所	3人/回	柏市とその近辺 市民延べ15人
	喪失体験者の集い	第3日曜日 13:30～15:30 12回	法人事務所	3人/回	柏市とその近辺 市民延べ85人
	痛みの分かち合いの会	第1木曜日 13:00～15:00 12回	パレット柏、 法人事務所	4人/回	柏市とその近辺 市民延べ150人
	遺族のためのグループ・ケア	第1水曜日 13:30～15:30 12回	柏市地域医療 連携センター	3人/回	柏市とその近辺 市民延べ57人
	こころの痛みの相談室	第2、第4水曜日 13:30～15:30 21回	法人事務所	2人/回	柏市とその近辺 市民延べ69人
	子どもグリーンサポートの集い	偶数月第1日曜日 4回	法人事務所	7人/回	千葉県内から親及び子ども延べ10人 大人延べ28人
	こころの相談室	金曜日(祝祭日第5金除く) 14:00～16:00 47回	島村トータル・ケア・クリニック	2人/回	松戸市とその近辺 市民延べ37人
	大切な人を亡くした方の集い	第3月曜日 13:30～15:30 11回	守谷保健センター	3人/回	守谷市とその近辺 市民延べ74人
	大切な方やご家族を亡くされた方の集い	第1金曜日 13:30～15:30 12回	流山野々下福祉会館	2人/回	流山市とその近辺 市民延べ79人

	ちばグリーンサポート	第2月曜日(祝祭日休) 14:00~16:00 9回	千葉市 Qiball (きぼーる)	4人/ 回	千葉市とその近辺 市民延べ41人
	ちばグリーンサポート5周年記念講演会	1月19日(土)14:00 ~16:00	千葉医療センター地 域医療研修センター	12人	千葉市とその近 辺市民55人
	ちばグリーンサポート特別講演会「悲しみを語る」	10月26日(土)14:00 ~16:00	千葉医療センター地 域医療研修センター	13人	千葉市とその近 辺市民114人
	グリーンサポート埼玉	第4日曜日(12月は第 3)13:30~15:30 12回	越谷サンシティ、越谷 市民活動支援センター	14人/ 回	越谷市とその近辺 市民延べ125人
	グリーンサポート埼玉講演会	6月30日(日)14:00 ~16:00	越谷市民活動 支援センター	15人/ 回	越谷市とその近辺 市民延べ85人
	グリーンサポート埼玉 デスカフェ	9月29日(日)14:00 ~16:00	越谷市民活動 支援センター	15人/ 回	越谷市とその近辺 市民延べ85人
	グリーンケア従事者資格認定	11月23日メモリアル サービスにて	マザアス南柏	2人	2人の認定者
(4)広報・情報提供事業	ニューズレターの作成	7月	法人事務所	10人	会員・市民他関連 団体500人
	ホームページの更新及び各種パンフレット・チラシの作成	随時	法人事務所	1人	会員・市民

※死別体験者を支援する事業にて、上智大学グリーンケア研究所のグリーンケア人材養成講座受講生の実習の受入を行いました。延べ86回で、延べ82人の参加がありました。

※月例会 14:00~16:00

日程	演題・内容	講師	参加人数
1月12日(土)	『こころに寄り添うアロマケア』	新川宏美氏(看護師/AEJ 認定セラピスト・アロマインストラクター)	会員36人 非会員5人
3月30日(土) 31日(日)	『“挑戦”するグリーンケア・ワークショップ』 テーマ①東日本大震災とグリーンケアの使命 テーマ②開かれたオープンダイアログ テーマ③ファシリテーションの力～難病患者同士の“しゃべり場”づくり事例から考える～	滑川明男氏(仙台市立病院精神科医師・NPO法人仙台グリーンケア研究会代表) 木村直隆氏((一社)石巻グリーンサポート代表理事) 菅原節郎氏(東松島子どもグリーンサポート代表理事) 生田かおる氏(青山学院大学非常勤講師・横浜国立大学大学保健管理センター非常勤カウンセラー) 芦名洋二郎氏(ファシリテーター・富士フィルムビジネスエキスパート(株))	30日 会員37人 非会員16人 31日 会員30人 非会員20人

5月25日(土)	『老いと死をユーモラスに語ろう』 —デーケン先生“ユーモアセンス”の 継承—	水野治太郎氏(当会理事長)	会員42人 非会員25人
6月22日(土)	体験発表及びデスクカフェ 『病気を通じて学んだこと』 「慈悲の核心は介護と介抱と 慰安である」 「病気を受け入れて向き合い、 そして生きる」	山田真澄氏(当会会員) 平井宏治氏(当会会員)	会員28人 非会員4人
7月27日(土)	台風接近のため10月に振替講演		
9月21日(土)	体験発表及びデスクカフェ 『ボランティアに向き合って』	阿部久美氏(当会会員) 白崎知美氏(当会会員) 吾妻早苗氏(当会会員)	会員32人 非会員2人
10月5日(土)	『死者との対話：大震災と霊性、記 憶、グリーフ』	花田太平氏(麗澤大学外国語学部 助教・当会会員)	会員28人 非会員3人